

「野口英世アフリカ賞」の運営の改善に向けた有識者懇談会の開催について

令和 2 年 7 月 10 日
内閣総理大臣決定

1 趣旨

感染症の蔓延が人類共通の危険であるとの認識に立ちつつ、特に問題の解決が求められている地域であるアフリカでの感染症等の疾病対策のため、医学研究又は医療活動分野において顕著な功績を挙げた者を顕彰し、もってアフリカに住む人々、ひいては人類全体の保健と福祉の向上を図ることを目的として創設された「野口英世アフリカ賞」（以下「本賞」という。）の授与を今後 3 年毎とすることに伴う選考作業を含め、本賞の運営全体に関する改善を図る方策を協議するため、内閣総理大臣の下に、「野口英世アフリカ賞」の運営の改善に向けた有識者懇談会（以下「懇談会」という。）を開催する。

2 構成

- (1) 懇談会は、別紙に掲げる有識者により構成する。
- (2) 懇談会の座長は、委員の互選により選任する。
- (3) 座長は、必要に応じ、関係者の出席を求めることができる。

3 庶務

懇談会の庶務は、内閣府大臣官房企画調整課野口英世アフリカ賞担当室において処理する。

4 その他

前各項に定めるもののほか、懇談会の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

(別紙)

「野口英世アフリカ賞」の運営の改善に向けた有識者懇談会 有識者名簿

【五十音順】

池上 清子	長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科	教授
黒川 清	政策研究大学院大学	名誉教授
杉下 智彦	東京女子医科大学	教授
ピーター・ピオット	ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院（英国）	学長
ミリアム・ウェレ	モイ大学（ケニア）	前総長